

分類	移住・定住	観光	PR	宅地開発	商業の活性化	まちづくり
<p>第1回会議の意見</p>	<p>転勤などで住所変更する時は、住む場所の治安・教育(通学距離・学校の様子など)を考える。 恵那市内でも高校に通うのが不便なので街中へ転居する人もいる。 仕事の都合で引越ししなければならぬ人は現実には単身赴任が多い。子どもが小さいと世帯で移住することもある。 田舎暮らしのニーズは多いし、若い人のニーズも今後増えそう。 二地域居住や回帰したいとの相談も多い。</p>	<p>観光名所はあっても「食」が足りない感じがする。地元の物を使っておいしい料理を。 東京で行われていた食のまつりで「恵那」を知っている人は少なかった。(6・7年前) 知ってもらうことが大切。 観光面からは全国に発信できるのは「木曾路」。ここから付随した恵那の魅力を扱うのがいい。 観光旅行は個性的になっている。(歴女や山ガールなど) こだわりの人たちに来てもらえるようなところが必要。 観光をネットワーク化して提案していくことが大切。 観光のスタイルもバスからマイカーに。団体から個人に移ってきている。 色々なイベントを仕掛けることも必要。</p>	<p>企業では東京と結ばれているところもあるが、それが「恵那」につながらない。他人(知人)にアピールできる「名所」が必要。恵那には沢山ある。 PR方法をよく考えることが大切。コストをかけずにできることもある。昔の、みのじのみ祭りではテレビニュースに取り上げられずいぶん宣伝になったこともあった。 高速道路インターが近くにあったり、JRですぐに名古屋などへ行けるといのは魅力。 定期的に継続してPRを行い知名度を上げる事が必要。</p>	<p>恵那は土地が動かない。農地法による抑制も要因のひとつ。耕作放棄地となり、外来種の草が生え景観を悪くしている。 宅地開発も田舎らしさをだして、菜園付きなどとするといい。都会と同じマンションではだめ。 農振地域の見直しを含めて計画すべき</p>	<p>リニア特需が疑問。商店街は大変で、15年後に同じ形態を続けていられるかなどの不安がある。 行きたくないような商店街が必要 やはり居住人口を増やすことが大切。 人口ばかりでまちを考えると難しい。他の価値観を考えてもよい。 新しい産業やサービスを考えることもよいと思う。</p>	<p>明知鉄道でリニアまちづくりの市民会議を立ち上げた。景観の整備やSLの動態保存を行うこととしている。 まちづくりは誰かがやってくれるとは思ってはいけません。みんなが危機感をもって、今何かしないと後々大変なことになる。という講演を聞いた。明智ではこれを実践しようとはがんばっている。 この市民委員会などまちづくりに関する情報が市民と共有されていない。 白川村では人口は少ないが歴史を残してきた結果、よそからお嫁さんが来たり、観光客が多く訪れる。今あるものを活用するためにはいろんな角度から見ることが必要。例えば「撮り鉄」を対象にした絶好の場所を見つける。リニアの駅では在来線特急とリニアが併走するような場所があれば多くの人が集まるのでは。 恵那の良さ 災害が少ない安全な地盤というのを売りに本社機能を誘致するなど。都会との時間距離がいいことも売りにできる。</p>

観光・まちづくりグループ

テーマ

□観光交流人口の拡大 □二地域居住者・移住者の受け入れ □恵那らしい景観の維持・形成

